

製品名: FGF8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00622**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 27 kDa; Observed MW: 27 kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF8
別名	FGF8; AIGF; Fibroblast growth factor 8; FGF-8; Androgen-induced growth factor; AIGF; Heparin-binding growth factor 8; HBGF-8
遺伝子 ID	2253
SwissProt ID	P55075
免疫原	抗血清はヒト FGF8 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

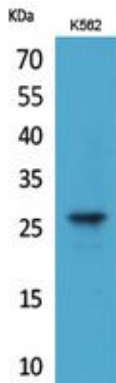
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーです。FGF ファミリーのメンバーは、広範な有糸分裂促進活性および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍増殖および浸潤などのさまざまな生物学的プロセスに関与しています。このタンパク質は、乳腺腫瘍細胞のアンドロゲン非依存性および足場非依存性増殖をサポートする因子として知られています。この遺伝子の過剰発現は、腫瘍増殖および血管新生を増加させることが示されている。この遺伝子の成体での発現は、Testes および卵巣に限定されています。この遺伝子発現の時間的および空間的パターンは、胚上皮因子としての機能を示唆しています。マウスおよびニワトリのホモログの研究により、中脳および四肢の発達、器官形成、胚の原腸陥入および左右軸決定における役割が明らかになりました。この遺伝子の選択的スプライシングにより、4つの転写バリエーションが生成されます。

研究分野

心血管系

画像データ



FGF8 抗体を使用した K562 溶解物中の FGF8 のウエスタン ブロット分析。